

釧路都心部まちづくり計画（事業構想編）コンセプト 【都心部及び駅周辺の将来交通ネットワークについて】

都心部及び駅周辺の将来交通ネットワークコンセプト

道路の段階構成・役割・整備方針	道路の役割イメージ	道路分類	道路の役割「①市街地形成」	道路の役割「②防災の視点」	道路の役割「③自動車交通処理」	整備方針（道路構造等）
		都心部環状道路 (跨線橋平面化)	広域交通（通過交通）から都心部を守り、都心部内の歩行者・公共交通中心の交通体系を支える骨格道路	地域課題 【津波災害時に懸念される 都心部の交通集中への対応】 広域交通（通過交通）は、可能な限り都心部環状道路・都心部放射道路で処理し、環状道路区域の内部の通過を減少させることで、災害発生時の交通混乱や混雑を軽減 避難する際（徒歩及び走行中の自動車）の移動円滑化や選択枝の拡大	広域交通（通過交通）である大規模交通を処理	4車線を基本
		都心部放射道路 (既存道路活用)			環状道路へアクセスする大規模交通を処理	
		都心部補助道路 (既存道路活用)			環状・放射交通以外の交通を処理 (環状・放射道路のネットワーク機能を補完)	2車線を基本
		都心部南北道路 (一部区間新設)	南北市街地を連絡し、都心部の一体感を創出する道路 3路線の役割、特に北大通と共栄新橋大通の接続については、公共交通利用者及び歩行者にとって利用しやすく、賑わい交流を創出する空間を目指す。 令和2年度 都心部地区交通戦略策定の中で検討（RINK釧路まちづくり交通戦略会議にて議論）⇒ 事業構想編へ反映		鉄道南北の連絡を強化し、環状道路の交通負荷を軽減	2車線を基本

